

くunchiニュース

# やへたまち

平成26年度 第2号



発行：八幡町くunchi奉賛会

平成26年7月28日

## 小屋入りが行われました。

6月1日（日）、長崎くんちの始まりを告げる「小屋入り」が行われました。

小屋入りとは、その年の踊町の役員や出演者が諏訪・八坂の両神社で清祓いを受けて、奉納の無事達成を祈願する行事で、この日から本格的に練習に入ります。

当日は、朝6時前に町内を一番太鼓（起し太鼓）のシャギリが回り、くんちの始まりを告げました。午前7時に役員、根曳衆、成人剣舞、シャギリ組、傘鉾組などの出演者が公民館に集合し、午前8時から諏訪神社で今年の踊町の一番手として清祓いを受けました。続いて伊勢宮に参拝し、八坂神社で清祓いを受け、町内の八幡神社に参拝後、公民館に戻って来ました。



## 午後からは、打ち込みに！

6月1日（日）の、午後からは、踊町が、年番町や他の踊町など関係先に挨拶回りを行う「打ち込み」が行われました。八幡町も、役員、根曳衆、シャギリ組で、根曳衆が5月の連休明けから練習してきた弓矢八幡祝い船の囃子を打ちながら町内を一周し、その後、関係先19箇所へ、打ち込みを行いました。



## 練習が始まりました。

小屋入りを終えた翌日より、10月の本番へ向けて、本格的な練習が始まりました。

弓矢八幡祝い船を曳く根曳衆は、1月から体力づくりで続けてきたランニングに加えて、今回より、市民会館や伊良林小学校体育館で、(公財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー取得者の橋口先生にご指導頂き、体管トレーニングを行いました。

また、囃子の子供達は、公民館の2階で、増山船委員長、菅長采、添根曳の指導の下、囃子の練習を行い、成人剣舞および少年剣舞は、三木先生のご指導の下、友愛保育園にて練習を行っています。

